

# ながはま 見聞録

## Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課 ☎65-6504) までお知らせください。

### 長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちよびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

10月19日(土)

### 観音文化を描いた名作を有志が復刊

絶版となっていた作家井上靖の小説「星と祭」が有志により復刊され、セレモニーが開催されました。

「湖北の観音文化」が描かれたこの小説は、観音めぐりブームの火付け役となった本。古書店店主の久保等容子さんから7人が、小説ゆかりの観音堂などで「勧進イベント」を開催して資金を募り、1,300部を発刊しました。セレモニーでは、多くの文学ファンが井上靖の長男修一さんとともに復刊を祝いました。



10月19日(土)

### 親子で育むわくわく運動あそび

乳幼児期から体を動かすことの大切さや親子のスキンシップの必要性を学ぶ「親子ふれあい運動あそびフォーラム」が虎姫運動広場体育館で開催されました。

松本短期大学名誉教授の柳澤秋孝先生は、「6歳までに80%の神経細胞が結びつく。親子でふれあいながら遊ぶことで絆も深まる」と指導。参加した親子は、「跳ぶ」「体を支える」「ぶら下がる」の動作を取り入れた遊びを楽しみながら学びました。

10月27日(日)

### 多彩な催しで国際交流

外国人と日本人が交流しながら、互いの文化への理解を深める「インターナショナルフェスタ」が神照まちづくりセンターで開かれ、15か国の人々が参加しました。

地元のキッズダンスチームや滋賀大学チアダンスチーム等が会場を盛り上げたほか、ハロウィン仮想コンテストや民族衣装体験コーナー、各国のグルメが楽しめる模擬店など盛りだくさんの催しで、様々な文化の違いを楽しむ1日となりました。



10月28日(月)

### 理科が好きになる感動体験を

長浜バイオ大学内に開設した小中学生用の理科実験講座「長浜学びの実験室」の成果報告会が行われました。

実験室コーディネーター勝木俊次さんは、「参加した児童、生徒たちの実験に対する理解度や満足度、学習意欲が年々向上している」と成果を報告し、長浜バイオ大学宇佐美昭二教授は、「常に子どもの視点で考えながら実験を指導した」と子どもたちの意欲的な学習を促すための工夫を語りました。

11月2日(土)

### きもので風情漂うまちを満喫

中心市街地一帯で「長浜きもの集い」が開催されました。

今年で22回目となるこのイベントは、古くから絹織物の産地として栄え、今も情緒あふれるまち並みを残す長浜で、幅広い層の人々にきものに親しんでほしいと毎年開かれています。

参加者は、「帯留漆芸講座」や「世界にひとつの日傘づくり」など33講座から自分の好みに合った講座を受講。秋晴れの中、長浜の古いまち並みが華やかなきもりで彩られました。



11月9日(土)

### 次代を担う子どもたちの未来にむけて平和を願う

湖北文化ホールで「平和祈念式典」が開催されました。

この式典は、戦没者の追悼と世界平和の祈念とともに、戦争を知らない若い世代に平和への思いを承継していくことを目的に、例年開催しているもので、およそ300人が参加しました。

式典では、戦没者への黙とう、市長による式辞のあと、遺族会の会長が家族のため尊い命を捧げた戦没者への追悼の言葉を捧げ、参列者全員による献花が行われ、平和への誓いを新たにしました。

11月9日(土)

### 地元の発酵食と地酒を楽しみました

木之本町木之本の古民家「文室邸」で、地元の酒蔵のお酒を楽しめる地酒BARや、湖北の発酵食をテーマとしたマルシェが開催されました。

地酒BARは、お猪口で利き酒が楽しめ、日本酒ガールによる日本酒に関するレクチャーも大好評。マルシェでは、地元の醤油を使った焼きおにぎり、古橋ヤキニクや発酵料理などのお店が軒を連ね、多くの来場者でにぎわいました。



11月10日(日)

### 地元の恵みを楽しむ秋の一日

奥びわ湖水の駅 塩津海道あちかまの里で、今年で15回目となる「奥びわ湖水の駅まつり」が開かれました。

民謡や歌謡曲、地元中高生バンドによるパフォーマンスが会場を盛り上げたほか、模擬店の鮎の塩焼きやせんざい、無料でふるまわれた鴨肉入りの千人鍋や焼きいもなど、人気グルメが勢ぞろい。地域内外から多くの人々が訪れ、地元の秋の味覚に舌鼓を打ちました。